

# 令和5年度 北九州市立本城小学校学校経営方針

国(文部科学省)

○ 令和の日本型学校教育

<個別最適な学び>

- ・指導の個別化 ※双方一体的に
- ・学習の個性化

<協働的な学び>

- ・探究的な学習や体験活動
- ・子供同士、多様な他者と協働で



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

## 学校教育目標

本城地域や家庭と連携して、「豊かな人間性とたくましい体を持ち、自ら学び自ら考え、協力してよりよい生活を創り出していく子ども」を育成する。 スローガン→「時を守り」「場を清め」「礼を正す」

## めざす学校像

「行きたい」「行かせたい」「応援したい」学校！  
教師が、生き生きと活躍できる学校

- 子どもが価値を感じ、学びたくなる学校
- 子どもの安全や安心を確保できる学校
- 思いやりと信頼で結ばれた学校
- 教職員が助け合い、学び合う学校
- 保護者や地域に開かれた学校

## めざす教師像

自らの資質・能力の向上と、協力・協働する教師集団

- 日々の授業を大切に、創意工夫する教師
- 正しいこと、大切なことを教える教師
- 一人一人の子どもに温かく接する教師
- 子どものために力を合わせ、支え合う教師
- 教育公務員としての使命感を持ち、保護者や地域との信頼関係をつくり、ともに育てようとする姿勢をもつ教師

## めざす子ども像

◆ 心も体も健康でたくましい子ども

- ・目標に向かって努力する子ども
- ・進んで働く子ども
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」等、よい生活習慣を身に付けた子ども

◆ 思いやりのある、心優しい子ども

- ・あいさつができる子ども
- ・善悪の判断ができる子ども
- ・困っている人を手助けできる子ども
- ・自己肯定感をもてる子ども

◆ かしこい子ども(学力向上)

- ・自ら学び、よく考える子ども
- ・自分の考えを表現できる子ども
- ・正しい判断ができる子ども
- ・本に親しむ子ども

北九州市(令和5年度主要施策)

○ 北九州市教育大綱

○ 第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン(本年度最終年度)

- ・読書 ・外国語(体験型英語教育)
- ・SDGs ・小中一貫教育 ・フッ化
- ・特別支援
- ・ICT活用指導 ・GIGAスクール構想
- ・長欠、不登校対応 ・SNS相談事業
- ・教育業務支援員 ・コグトレ
- ・学校支援

## ポストコロナにおける学校づくり

### 1 安心・安全な学校

- ・いじめ対策、不登校対策
- ・学校安全対策(防犯)
- ・対人スキル学習(子どもつながりプログラムの確実実施)
- ・危機管理の徹底「さしすせそ」「報・連・相」

### 2 授業の改善・充実

- ・個別最適な学びと協働的な学び(AIDリル、補充的学習)
- ・主体的、対話的、深い学びによる授業づくり
- ・各調査結果による課題をもとにした学習の重点化

### 3 特別支援教育の充実

- ・特別な支援が必要な児童への教育体制の整備
- ・個別の支援計画、指導計画に基づく積極的・組織的な指導の充実
- ・コグトレによる認知機能強化トレーニングの充実

## 令和5年度の重点目標

### 3 学び合い、信頼される教職員

- ・授業におけるICTの効果的な活用
- ・メンターの仕組みを生かした人材育成
- ・ポストコロナにおける学校行事の創造
- ・もち合い授業や、専科指導、一部教科担任制による、一人にしない体制の強化

### 5 子どもと向き合う時間を生み出す業務改善

- ・ICTを活用した業務の効率化及び削減
- ・業務の平準化と質の向上
- ・退校時間を意識した業務計画
- ・プロジェクトリーダー制による協働体制
- ・ワークライフバランスの充実

人権、道徳教育

小中一貫・連携教育

ICT活用力向上

各関係機関との連携

温かい信頼関係に基づく学級・学年経営

ICTの効果的な活用

効率的な人材配置と活用

事故・不祥事防止

情報モラル

未来を生き抜く力の育成

ニーズに応える特別支援教育

これからの時代を見据えた学校行事

資料の整理共有化

ルールの共有